

## 第1回 添田町立小中学校更新基本計画(案)策定協議会

日時 令和2年8月26日(水) 18時から19時15分

場所 添田町役場3階委員会室

出席委員 20名

### 協議事項

- ・小中学校建設地
- ・添田町が目指す子ども像

### 意見等

○小学校を統合して中学校も建て替えて小中一貫校ができるということか。

→小中一貫校でなく、あくまで小中連携という形で、中学校敷地に小学校、中学校を同時に建設するという方向で進めている。

○小中一貫校や義務教育学校ではないということか。

→そうである。

○提案では、小学校と中学校は繋がっている。

→現状、そうである。

○高台(現校舎)の方が運動場になり、高低差はそのままと考えてよいか。運動場が高台(現校舎)にできると考えてよいか。

→大まかにはそうした形となるが、現中学校の敷地計上に多少段差があり、グラウンドとして整備できない。ある程度のフラットな面を造るための造成工事は多少発生してくる。

○嘉飯山地区で、校舎建て替えの経験があるが、高台に運動場、低い方に校舎であり、建て直す場合は、現校舎を運動場、運動場側に校舎を建てるのがセオリーである。最悪のパターンは、高台に運動場、低い場所に校舎の建設である。風が吹く場合、直接、砂が校舎に入ってくる。この状況は好ましくないと思う。この高低差なら、台風などの場合、かなりの量の砂が校舎側に入り、また、少しの風でも砂が校舎の中に入ってきて、建設の際、検討しなかったのかという経験がある。基本的なセオリー通りにしかできないものか。運動場側に校舎、校舎を解体して、運動場にするとした方法がよいと思う。

○駐車場や体育館がまだ、提示されていない。説明のあったイエローゾーンレッドゾーンあたりになるのか。2つのゾーンを整備した上で建設するのか、別な場所に建設するのか。

→体育館については、イエローゾーンやレッドゾーンから外した位置に計画している。また駐車場や体育館の位置についても、今後利便性などから計画したいと考えている。

○連携校ありきの提案が疑問である、中学校と一体になるのであれば、そうした考えもあるのかか思っていたが、連携するならば、体育館は2つ、小学校用中学校用がないと使いづらいかと思う、運動場を使う場合も、小学校、中学校それぞれで利用する。

小学校を統合して、別に添田小学校に建てると思っていたが、そうした論議はないのか。

→会議は、6回を予定している。小中連携に対しての項目があるので、改めて意見等を出してもらえればと考えている。

○添田小学校は、本当に古く、今でも建て替えて新しい校舎に移ってほしいと思っている。第1回目でゾーニングの提案であるが、このゾーニングの提案は非常に重要な内容だと思う。提案ありきで進行しそうなので、できるだけ今の問題点や今考えていることを示しておかないと、建設したが、良くなかったでは子供も喜ばないので、出来るだけ意見をくみ上げてもらい、出来るだけ早く意見を出してもらった方が、より良い小学校中学校になるのではないかと思う。

○小学校中学校同じように一体型にするならば、大きな大運動場・小さな運動場等、小学校と中学校が同時に使えるようなもの、大きな体育館、中学校小体育館、こうしたものがないと、これは教育課程において非常にあった方が好ましいと思う。飯塚市にある学校は、どちらが運動場を使うのか、どちらが体育館を使うのか、こういったところが現実問題としてある。意見にあったように、体育館を大きな体育館中体育館小体育館なりつくとか、運動場は同時に大きな運動場、少し小さな運動場があるというところを意見として思っている。

○駐車場については、5校が合併し、中学校も色々な地域から通っていてスクールバスを現在使っているので、スクールバスの駐車場等の対応が必要ではないか。体育館も意見があるように大中小くらいあった方が使えるのかなと思う。特に人数が増えるので、そうしたところも配慮してもらえばと思う。

→駐車場には関連するが、スクールバスの協議事項を12月予定としている、今後の流れを見ながら、意見を詳細に示すよう説明の準備を進めていきたいと考えている。

○スケジュールを見ると、6番目のところにスクールバスの運営方法に関するところがあるが、最後になっている。他の学校と中元寺小学校は距離的に一番微妙なところで、本校だけスクールバスが出ない状況である。今の状況は、中元寺トンネル付近のトラックの通行量が非常に多く、子供が安全に歩いていくというのが前提で考えてもらった場合、スムーズに

行ける道ではない。歩道がない状況で、この道路をスクールバスは使わずに学校まで行かせるというのは納得できない。スクールバスを出すのか送迎する駐車場などの点は、進めてほしい。

○中学校敷地での建設で進んでいるが、添田小学校敷地でも良いと思う。安全で、崖崩れ等も心配なくて良い、人も寄り付きやすい、色々な方向から行くことができるので、添田小学校敷地に建設できれば良いと思っていたが、そうした考えはないのか。

→添田小学校の問題は、以前から色々な意見がある。教育委員会の判断として、最大の問題は添田小学校を建て替えた場合は補助金の問題がある。新しい学校の用地は別の場所に建て替えない限り、現在の小学校をそのまま建て替えることに対しては、建て替え面積分を除いた増えた部分に対してしか補助金が出ないということになる。教育委員会としても、以前から財政的な面も含めて検討していたが、添田小学校の後に新しい校舎を建てることは現実的に難しい。

○今町内に学童保育所は3か所あるが、3か所で150人の利用者がいる。合併にあたり、学童保育の利用者というのは増えてくると思う。理由としては、保護者の勤務先から学校までの距離が伸びることが発生してくるので、伸びることにより、児童が学童保育ではないとその時間帯、誰も家にいないというところが、発生してくるのではないかと思う。こうしたことなどから、新しい小中学校となれば学童保育の場所も考えてもらいたい。

現状では落合、中元寺、添田とそれぞれ学童保育があり、専用室があるのは添田だけであるが、中元寺や落合は、残念ながら専用室が取れていない状態である。

専用室で1学童が、約40人規模で国はやっているの、その規模で考えると、合併すればだいたい5学童くらいいるのではないかと考える。こうしたことも含め、学校建設とは別となるが、意見を汲んでもらいたい。

→計画の中に、学童保育所も計画していきたいと考えている。

○現状、添田町各学校の具体的な数は、今生徒が何名いるのか。明記されておらず、わかりづらいと思う。各小学校、全校生徒が何名いるか示してもらいたい。

→現在、津野小学校が12名、添田小学校が273名、中元寺小学校が51名、落合小学校が26名、真木小学校が57名、添田中学校が200名である。今現在であるので、統廃合を見据えてこの先完成する頃には、数字は変わってくるが、今の時点での人数で答えさせてもらう。

○説明のあった3つの、「ふるさとを愛する心」「人間性豊かな心を育てる」この辺の部分、大自然添田町英彦山があるが、歴史を学ぶためにはやはり地域の方々の協力あってこそであると思う。特に落合小は地域との関係が密接にある。それによって子供も地域の方が

ら歴史を学び、子供が地域の方々に元気を与えるような素晴らしい環境だと思う。その他にも「こてんぐ塾」という地域を盛り上げるために活動するグループがある。その他にも地域を盛り上げる方々がいる。地域の方々との関係性というのは、学校が減ると遠のいていってしまうようなイメージがあるので、不安なところではある。また、ふるさと自然を満喫するというか、アナログなイメージにはなるが、学校が大きくなっていくと今 IT 化等言われますが、どうしてもデジタル化になっていくので、未来を支えてもらう子供たちには添田町を好きになってもらいたいし、夢や希望を実現するために添田町から離れて行ってしまうのであればもったいない感じもするのでそこらへんは大切にしていきたい課題かと思う、そうしたところも配慮してもらいたい。

○「ふるさとを愛し」を言いきってしまったらどうか。「添田を愛し」と。「添田町を愛し」と言った方がいいのではないかと思う。

→ふるさと添田ということで考えていた。

○今から会議が進んでいくうえで、教育委員会から「添田町が目指す子供像」という事が出てきたが、これはどこかのタイミングでリンクするのか。。例えば、こういったイメージで学校が設立する計画というのは、何回かの上で入ってくるのか来ないのか教えてもらいたい。

→基本的に統合されるというのは添田小学校 4 校が統合されるのではないという事は以前説明があったと思うが、新しい学校ができるという前提で考えると学校名もまだ決まっておらず、ふるさと添田という事を考えたときに、私たちが住んでいるこの地域という考え方で行くべきではないかと思う。学校名、校歌も決まるなどにより、段々と学校の姿が見えてき始めるという事になっていくと思う。そこで作り上げていくのが、今日のこのような会議であり、あくまで予定ではあるが、次の段階として分科会というか専門委員会というかそのような形になり、そこでまた論議されていくというイメージでいいのではないかと思う。

○例えば、設計されるときに添田町はこの様な町だと知っていた方が設計しやすいと思う。

そうしたアウトプットというかインプットというか、情報というのはこんな町にしたいんだというのはできるだけ情報として与えてもらえるといいかと思う。

→基本計画（案）が策定されて、承認となれば（案）が取れる。翌年以降にはなろうかと思うが、いわゆる実施設計の段階に入ると、今現在仮ではあるが、準備委員会等が立ち上がっていく運びになる。学校名そして校歌あたりは具体的な内容については、準備委員会等で決まっていくと考えている。

○この年間スケジュールに沿って進めていく段階で、この基本方針の中で地元調整は整っているのか。

→経緯の中で説明したが、平成30年度「明日を考える会」で、実施してきたと考えている。考える会において、地元や地元の代表の方が参加して対話型のコミュニケーションを図ってきたと考えている。こうした、過去の意見を考慮し、昨年度基本方針を策定、この方針における10項目を、協議会において意見徴収していくこととしているので、地元との調整とは少し違うが、一定の合意形成は出来ていると認識している。